

白老町活性化推進会議 第3回活性化推進部会（報告書）				
開催日時	平成26年7月28日（月）15:00～16:20			
開催場所	役場第3会議室			
出席者	欠	石井和彦（産業経済課）	欠	広地紀彰（虎杖浜竹浦観光連）
	○	本間 力（産業経済課）	○	壬生龍之介（白老観光商協）
	○	北平 保（白老町商工会）	○	盛 悦子（同席）
	○	千葉勝宏（白老観光協会）	欠	外崎晃男（ロータリークラブ）
	○	蒲原亮平（白老青年会議所）	欠	鈴木みゆき（白老町婦連協）
	欠	山丸和幸（白老アイヌ協会）	○	垣通吉則（いぶり中央漁協）
	欠	伊藤史康（とまこまい広域農協）	【オブザーバー】	
	○	野本三治（アイヌ民族博） 西條林哉（代理出席）	○	藤澤文一（産業経済課）
	欠	相吉慶二（白老振興公社）		
<p>【協議の要旨】</p> <p>事務局 第3回活性化推進部会を開催します。はじめに北平部会長からご挨拶をお願いします。</p> <p>部会長 前回の会議でもある程度意見集約しましたが、まだまだ意見を出していただき、事務局にまとめていただきたい。また、今後先進地視察も予定されておりますので、良い結果が出るように頑張りましょう。</p> <p>事務局 前回の会議の検討シートをまとめたものをお送りしておりますが、内容を説明いたします。</p> <p>＜検討シート説明＞</p> <p>また、8月22日に第2回合同学習会があり、近くご案内があるかと思えます。「象徴空間閣議決定と2020年への道程」をテーマに常本照輝氏（アイヌ製作推進会議作業部会座長）が講演を行う予定です。</p> <p>先進地視察については、九州国立博物館を予定しておりますが、11月に白老町商工会と合同で行くか検討しているところです。</p> <p>本日はテーマを絞って、「取り組み・必要性」「目標とする内容」「役割分担」について用意した付箋に、皆さんから自由意見を書いていただき、意見集約したいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>A 構想自体の全容が見えない中で、どこまで意見・提案できるか。</p> <p>事務局 我々も与えられた情報のなかで、課題抽出しておりますが、すべての意見が、その方向に行くとは限りませんし、反映度合いは分かりませんが、まずは自由意見を出していただくことが先決と考えますので、ご了承ください。</p> <p>＜各委員、付箋記入＞</p> <p>事務局 ＜シート貼り付け、意見集約、まとめ＞</p> <p>次回については9月になるかもしれませんが、日程調整のうえ、ご案内いたします。</p> <p>部会長 我々の意見を最大限の声にして、将来も子供たちのためになるような産業となるよう、意思表示しなくてはならないと考えますので、早い時期に道筋がたてられるようご協力をお願いします。</p>				
次回開催予定	未定（北平部会長と後日調整）			

自由意見シート（平成26年7月28日）

項目	取組み・必要性など	目標とする内容	役割分担
食	<ul style="list-style-type: none"> ■ご当地グルメの開発（コスト、味、雇用増に） ■食材の再開発（白老牛、たらこ以外に） ■白老牛の捨てる部位の活用 ■タラのアラなどを活用した魚醤の開発 ■食の発信（情報） ■既存提供の充実と新規提供の創出 ■食の取組みに対する現況調査 ■点在するもののコンパクト化 	<ul style="list-style-type: none"> ■2020年度までに北海道ご当地グルメ大会を白老町で開催 ■ポロト地区周辺にレストランを建設 ■1箇所ですべてを堪能できる複合施設の建設 	<ul style="list-style-type: none"> ■まちづくり会社の創設 ■商工会 ■観光協会 ■漁協 ■白老町 ■民間事業者 ■新たな起業
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> ■大衆が宿泊、食事のできる施設 ■大町周辺のホテル、旅館が不足気味 ■宿泊に関する現況調査（泊まりたい?） ■アイヌ風の施設 ■海外バックパッカーの受け皿 ■道害ツーリング客の受け皿 ■日帰り温泉客の受け皿 ■竹浦・虎杖浜地区の日帰り温泉に新たなキャッチコピーと修繕費補助 ■町民、近隣からも利用でき、研修施設としても利用できる温泉 	<ul style="list-style-type: none"> ■全道のアイヌおよび一般観光客も気軽に利用できる施設 ■団体客、修学旅行客、研修目的客への対応 ■温泉付中古住宅の活用（Uターン等の人材を活用した新しい経営を2020年までに10組） 	<ul style="list-style-type: none"> ■民間事業者等
体験	<ul style="list-style-type: none"> ■白老らしさ、ならではの体験 ■カヌー、ボート類の発着、ならびに係留箇所の指定 ■ポロト地区にアウトドア体験が定着できる場所、施設の確保 ■高齢者の登山へのニーズ（アイヌ文化、ポロトの自然、国有林を活用した白老型の提案） 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域との連携（体験事業者） ■カヌー等利用者増大による利便性の向上のため ■団体、個人、教育旅行等対応できるカヌー、ボート、アウトドア用具、置場の設置 ■雨天でも利用可能なテント対応等の検討 ■国有林を活用した新たな発信 ■白老町から樽前山への登山ルートの発掘 	<ul style="list-style-type: none"> ■民間事業者等
駅北	<ul style="list-style-type: none"> ■雰囲気の一掃（どこが整備負担?） ■商業施設の開設（城下町風） 	<ul style="list-style-type: none"> ■白老駅の移動 ■駅北の地主との交渉、調整 ■既存商店街との連携 ■道の駅、ポロト温泉との複合施設の開設 ■中心市街地でイベントができるスペース確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■白老町 ■民間事業者

<p>文化・伝承</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保存会や子供たちを巻き込んだ伝統芸能の育成 ■ 国立博物館建設に至るまでの経緯が解るモニュメント設置（彫刻など） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アイヌの日の制定 ■ アイヌ協会、機構との連携 ■ 雇用+文化伝承+土産品ができる施設が必要。制作品を土産品として販売できるシステムを構築し、雇用の場を創出する ■ 国立博物館建設に至るまでの過程で土産品（木彫）の急速な販路拡大に尽力した功績者を忘れないため（山丸氏、野村氏） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 白老町 ■ 民間事業者
<p>雇用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元雇用のほか、外国人雇用も大事 ■ 研修センターの開設による雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外国人雇用の育成時間を半年以上とみなし、逆算して早急な対応をとる。 ■ 北大、機構、アイヌ協会との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国 ■ 北海道 ■ 白老町
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 土産品の団体収容可能な施設がゾーン内に必要 ■ 土産品の建設移動は、町の指定する箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北海道産品、アイヌ民芸彫刻、工芸品製作販売 ■ 露天風呂 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 白老町（国、道の補助制度はないか） ■ 民間事業者